

施設からまちに飛び出すアイデアを考えよう！

令和8(2026)～9(2027)年度に鷺沼駅周辺に移転・整備する予定の新しい宮前市民館・図書館の検討に向けて、第8回ワークショップを6月26日(土)に開催し、小中高校生・大学生からベテラン世代まで、26人の方にご参加いただきました。

本ワークショップは、新しい施設で行われる事業や使用ルール等の柱を定める管理運営計画の検討にあたって、皆さんと一緒に考えたり語ったりする内容となっており、全9回を予定しています。

このニュースレターでは、当日のワークショップの様子やいただいたご意見をお伝えします！



「まちに飛び出す」施設って？

今回のワークショップのテーマは「「まちに飛び出す」を考える」でした。

参加者の皆さんには、新しい施設を知ってもらうためのアイデア、施設での活動をまちに広げるためのアイデアについて考えていただきました。各自でご意見を付箋に書き出した後、皆さんで話し合いをしながら、意見を整理しました。

より多くの人に施設を知ってもらうための広報の方法、活動をまちに広げるためのアウトリーチなど、様々な意見が出て、グループワークは大いに盛り上がりました！

皆さんからのご意見は次のページに続きます。

「まちに飛び出す図書館」出張図書展示コーナー！

「まちに飛び出す」事例として紹介した宮前図書館の常設コーナー「認知症の人にやさしい小さな本棚」の出張展示を、今回のワークショップでも行いました。

本展示は、向丘出張所や区主催の相談会などで実施されており、認知症関係の本の展示や地域包括支援センター職員「おススメの本」ブックリストの配布などが行われています。

ワークショップでの出張展示



施設を知ってもらうためのアイデア	
広報・方法	
紙媒体・配布物	・駅前でチラシを配る
	・スーパーで商品と一緒にチラシ・ビラを配布する
	・パンフレットや図書館情報誌を小中学校で配布する
	・イベント情報をのせた広報誌を出版
	・町会・自治会の回覧板で活動情報を流す
紙媒体・掲示物	・田園都市線の電車の中に広告を貼る
	・駅にポスターを貼る
	・東急ストアにポスターを貼る
	・学校にもポスターを貼る
	・宣伝ポスターをバスの車内、病院の待合室、スーパーのおどり場に貼る
SNS・HP・アプリ	・LINEの公式アカウントを作る
	・市民館で開催される様々なイベントのチラシをSNSで発信する
	・宮前区のホームページで宣伝
	・学校の保護者用アプリでイベント情報等を配信
イベント	・音大生の練習を兼ねたコンサートをホールで行う
	・駅前など人が集まる場所でイベントをする
	・図書館バックヤードツアーをする
	・建設が終わったら、日程を決めて、市民館ツアー、図書館ツアーをする
募集	・外観のデザインの一部の模様などのデザインの募集
	・図書館活用のアイデアコンクールを実施
	・マークやキャラクターを募集する
	・宣伝ポスターのイラストを小・中学校などで募集
ラッピングバス・電車	・ラッピングバス、ラッピング電車
	・区内のラッピング会社とコラボ

施設での活動をまちに広げるためのアイデア	
アウトリーチ	
学校	・地域に伝わる昔話や民話を語る高齢者を活用（学校へ出向いて語る）
	・小中学校、街などでスタンプラリーやなぞときをやる
	・学校図書館への本の貸出
区内施設（分館・児童館等）	・営生分館、アリーノとの連携イベント+連携バス
	・学校、幼稚園、介護施設など施設外でのお話し会
	・自動車文庫が老人ホームなどを訪れるようにする
区内店舗	・東急ストアで図書館の本を貸し出す
	・ダンボール図書館（ダンボール1個分の本棚をあちこちの店に置いてもらう）
地域	・市内の料理グループが町会、子ども会、地域の自治会のところへ出前講座をする（例：ポリ袋で簡単料理、野草料理など）
	・朗読の出前 視覚障がい者の方、海外から来た方など
施設・組織間連携	
学校	・学校の校外学習で市民館・図書館のイベントに参加してもらう
	・小中学生による一日図書館職員体験
	・地域を知る自由研究講座→実際に街に行って模造紙にまとめる
市民活動グループ	・図書館の本を育児グループに貸出す（有料宅配など）
	・夏休みの宿題お助け企画（工作など）を関連団体、ボランティア等と共同で企画する
	・ネットワークを作っている活動団体の情報バンクを作り、そこに市民館・図書館も情報を流してもらう
地域	・地域で採れたものを使った料理教室 農家さんとお話を聞く

まだまだ掲載しきれないほど、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました！

今回のワークショップでは、計5チームに分かれ、施設からまちに飛び出す取組について意見を出し合いました。小中高生・大学生からベテラン世代まで、それぞれの視点でアイデアを出し合って、活発な意見交換が行われました。

施設を知ってもらうためのアイデアでは、チラシ・ポスターなど紙媒体を活用したアイデアなど紙媒体を活用したアイデアでは、区内の学校や店舗などへのアウトリーチ

「まちに「飛び出す」施設」とは？

チ活動のアイデアが多くあり、また、学校や市民活動グループと連携したイベントを行うことで活動を広げるアイデアもありました。

次回、いよいよ最終回のワークショップのテーマは、「地域の“チカラ”を育む」を考える～どんな風に参加する？～です。

ご期待ください！

今後のワークショップ

回	日付	場所	テーマ	
7	5月22日（土）	土橋小学校	複合施設のメリットを活かした取組を考えよう	済
8	6月26日（土）	土橋小学校	「まちに飛び出す」を考える	済
9	7月31日（土）	土橋小学校	「地域の“チカラ”を育む」を考える～どんな風に参加する？～	

本ワークショップは全9回を予定しています。（傍聴可）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、日程が変更となる場合もあります。

お問合せ

〒210-0005 川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビル13階
川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
TEL 044-200-1981 FAX 044-200-3950

なんでもアンケート

ワークショップ終了後に参加者の皆さんからいただいた感想・ご意見をご紹介します。



自分の意見や他の人の意見を共有することで、新しい考えを持つことができ、楽しかったです。

様々な方向から話題ができて、多くの意見を聞きながら、自分もたくさん意見を出せた。今回も面白かった。



色々なサービスを考えましたが、すでに行っているものあり、広く使ってもらえるよう広報することの大事さを実感しました。

学校との連携が印象に残りました。小・中学生に施設を知り、広めてもらうことが大切だと思います。

